

# きらめき 上條小



校長室だより

No. 8

泉大津市立上條小学校

校長 西鍵 利一 2014.10.10



運動会が終わると、今度は盛りだくさんな秋の諸行事が待っています。特に6年生はこれからいよいよ活躍の本番を迎えます。市内陸上競技大会、修学旅行も月末に控えています。運動クラブの対抗試合も熱を帯びてきます。まさに実りの秋そのものです。もちろん本業の学習にもいい季節ですから、勉強もがんばってくださいね。



“やって来ました日本の夏、ならぬ上條の秋” どこかのキャッチコピーじゃないですが、『次代を担う子どもの文化体験事業』が今年も上條にやってきました。左の看板は3年連続の使いまわし！（^-^）；覚えておられますか？一昨年は『神奈川フィルハーモニー管弦楽団』、昨年は『東京二期会』合唱団、それぞれ1つ呼ぶだけでももう大変、学校の年間予算並みの大事業なのに、今年も3年連続で今度は『さくらこまち和楽団』が上條に来てくれることになりました。例年同様にまず先乗りワーク



ショップということで、運動会の3日前の9月18日に6年生対象に体育館で、和楽とは？といった歴史も踏まえたお話から和楽器の紹介と演奏、



それに本筋の本番当日に合同演奏する練習をしました。右上の写真がその3人の方が披露して下さった「琴」「尺八」「琵琶」です。私も初めて聴く和楽器の本物の音色に聴き惚れました。そして左の写真が練習風景。今回は（ずいずいずっころばし、かごめかごめ、ひらいたひらいた、あんたがたどこさ）を練習しました。本番は11月13日です。今から期待感マックスです！



## 清掃活動

運動会前の13日（土）に、少しでも気持ちよく運動会をと、毎年この時期に学校の体育館前の植え込み周辺の草刈りをしてくださっています（年2回）。本当にいつもありがとうございます。感謝しています。



上條悠人クラブ

卒業式の日程確定

\* 小学校 3月18日(水)

・中学校 3月13日(金) ・幼稚園 3月20日(金)

## 理科・家庭科展入賞者

**理科展** (1年) 坂元一颯、杉塚さくら、北野陽香莉、安藤楽生、平澤昊志、福島琉生、(2年)八久遥愛、田中成史朗、小田行翔、西山聖波、緒方晴斗、木下倫瑛、新井悠生、高川 倭、(3年) 森口歩美、井上 春、島田美晴、鎌苅悠仁、野村風太、猿田凜斗、(4年) 永松泰地、二見萌々花、笹倉 堇、松内璃子、上田涼嘉、根来 舞、(5年) 原田智子、平澤未空、奥野 颯、富永疏斗、小西健太、(6年) 佐々木駿、田村穂貴、藤原 舜、松葉丈哲、辻野裕己、松岡大気、

**家庭科展** (5年) 池田世安、大山歩夢、迫 愛理、谷口柊斗、原田智子、天戸架哉、笠松愛音、今野風汰、中筋華音、花田悠陽、久世達比登、小谷雪那、田中 葵、田ノ岡紗菜、福田奈々世、(6年) 岩井琴音、今井琴音、小原隆五、清水悠馬、平田莉寧、大野愛佳、中岡美玖、中村玲菜、松内孝介、向井菜穂、草西遼平、黒岡華子、田原結佳、名下茉里亜、松井望々香、

## JAいずみの書道コンクール入賞者

【金賞】 白澤大政(半紙・4年)、岡本優音(条幅・3年)

【銀賞】 原田智子(半紙・5年)、岡本舞音(条幅・6年)、

【銅賞】 笹倉 堇 (半紙・4年)、岡本舞音 (半紙・6年)、  
清水陽斗(条幅・4年)、長谷川結菜(条幅・5年)、



【佳作】(半紙) 南出咲良 (1年)、吉倉里奈(2年)、森口歩美(3年)、伊藤咲希(3年)、長谷川結菜(5年)、(条幅) 濱口遼介(1年)、奥野 想 (2年)、緒方晴斗 (2年)、森口歩美(3年)、北野利京 (4年)、

## 国際平和ポスターコンテスト

【クラブ会長賞】 楠木 浩志 (6年)、

【佳作】 金原 凜(6年)、吉川 諒(6年)、堀川実紅(6年)、岡 萌花(5年)、

## 自転車子ども絵画コンクール

【努力賞】(3年) 北野翠れん、伊山流空、

## 環境イベント絵画コンクール

【入選】(1年) 太田瑛介、(2年) 浅野勝也、(3年) 上畑智徳、(4年) 大中実生  
(5年) 岡 萌花、(6年) 浜田隆太郎

## 夏の標準服改訂アンケート

先日はアンケートへのご協力ありがとうございました。  
その集計結果をご報告します。

\*改訂に賛成 393票(87.7%)、反対 49票(10.9%)、どちらも 6票(1.3%)、  
以上、改訂に賛成の方が圧倒的多数ですので、平成28年度実施に向けて改訂を進めて  
いきたいと思っております。また多数のご意見も頂戴し参考にさせていただきますが、今回は  
あくまで『夏の標準服の改訂』という件でのアンケートですし、すべてのご要望等には  
到底お応えできませんので、ご了解ください。現時点でベースとなる見本を、休日参観  
に展示予定です。





# 番外編

## 小鳥ものがたり①



9月が終わろうとする日、いつものように朝の眩しい光の中で、通用門に立って登校する子どもたちを迎えていました。本当にいつもの何気ない当たり前の時間が流れていました。

そんなとき「校長先生！小鳥がいる！」と、高学年の男の子たち数人が私に一大事を告げに来てくれました。状況が飲み込めないままでしたが、導かれるままに付いて行くと…その通用門の端にある自転車置き場と下足場入口に挟まれた植え込みの陰に、じっとして動かない一羽の小鳥がいたのです。一目でスズメではないことは分かりました。見かけは成鳥のようですがまだくちばしの感じから幼い鳥だと思えました。ただじっとしているだけなら…とと思ってそっと両手で包み込むように捕まえようとすると、すぐに羽をバタつかせて飛び上がろうとしましたが、やはりほんの少し上がっただけでまた地面に降りてしまいました。そこで今度はそれを承知でもう一度、なるべく負担にならないように両手で包んであげながら捕まえることができました。手の平には、小さいけれど命の温もりが感じられました。そしてキーキーと精一杯の鳴き声もありました。直ちにこの状況を分析にかかりました…これはきっと飛ぼうとしたけれど飛びきれなくて、落ちてしまったんだろう…しかし付近を目で探索しても巣らしきものは見当たりません…このまま置いていた方がいいのかな？…いやいや、やはりかわいそう!!! かなり弱っているようにも思えるし…もうこうなると、私のおせっかいスイッチが ON。そのまま職員室に連れて行って、とりあえず何か…! 目に付いた芝生の募金箱に一次保護。そしてまた朝のあいさつへと戻りました。その後、朝礼が終わってから先生方に“虫カゴ持っていませんか？”って聞いてみると、安部先生が1つわざわざ持ってきてくれました。アリガトウ! 早速そこに補修用に育てている芝生を切って入れてあげてから、その中に小鳥を入れてあげました。さて次はエサです。ネコのエサならいつも車に積んであるんですが…。そこでホームセンターにひとつ走り、小鳥用のエサを買いに行きました。するといろいろあるんですねえ…迷って迷って…しかも袋が大きい! 大きくなって飛べるまでの間、飼ってあげるだけなのにこんなにいっぱいはいらないし…でも仕方ありません、とにかく一番いいと思うのを買って帰りました。ところがアワ粒を買ったのが失敗だったかな? 粒は食べそうにありません。仕方なく理科室に行って、乳鉢とミニシャーレとピペットを拝借。乳鉢でアワ粒をよくすりつぶして粉にして、それをお湯で溶いたのをミニシャーレに入れて置いてあげました。しかし、虫カゴが少し小さくて身動き出来そうになく、せっかく貸してくれたのに残念ですが、仕方なく他のを探すと、虫カゴじゃないんですが、四角い大きなカゴがありましたので、そこに移してあげました。なんとか自力で水を飲んだり、エサを食べてほしい! そう願いながら…祈るような想いで見つめました。(ツヅク)